

## 2021年7月期 中間決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年3月15日  
東

上場会社名 株式会社一寸房 上場取引所  
 コード番号 7355 URL https://issun.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)上山 哲正  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)加藤 力 (TEL) 011 (215)0061  
 発行者情報提出予定日 2021年4月30日 配当支払開始予定日 —  
 中間決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 中間決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年7月期中間期の連結業績 (2020年8月1日~2021年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年7月期中間期	440	4.7	△63	—	△59	—	△47	—
2020年7月期中間期	421	—	△13	—	△7	—	△10	—

(注) 包括利益 2021年7月期中間期 △47百万円 (—%) 2020年7月期中間期 △11百万円 (—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
2021年7月期中間期	円 銭 △21.61	円 銭 —
2020年7月期中間期	△4.90	—

- (注) 1. 当社は2019年7月期中間期については中間連結財務諸表を作成していないため、2020年7月期中間期の対前年中間期増減率については記載していません。  
 2. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、2020年7月期中間期において当社株式は非上場であり期中平均株価が把握できないため、2021年7月期中間期において1株当たり中間純損失であるため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2021年7月期中間期	百万円 631	百万円 1	% 0.2
2020年7月期	587	48	8.2

(参考) 自己資本 2021年7月期中間期 1百万円 2020年7月期 48百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
2020年7月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2021年7月期	0.00		
2021年7月期(予想)		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年7月期の連結業績予想 (2020年8月1日~2021年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	1,073	10.5	△4	—	5	△63.0	11	△35.5	5.06	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期累計）

2021年7月期中間期	2,197,300株	2020年7月期	2,197,300株
2021年7月期中間期	一株	2020年7月期	一株
2021年7月期中間期	2,197,300株	2020年7月期中間期	2,197,300株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信（添付資料）3ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により、経済・社会活動が制限され、企業収益の悪化及び個人消費の著しい停滞など厳しい経済環境となりました。日本政府による景気刺激策や海外経済の改善により、景気回復の動きも見られましたが、未だ新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず、先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループの主要取引先である建設業界におきましては、公共投資は底堅く推移しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響による民間企業の経営環境の悪化に伴う設備投資の先送りや規模縮小の動きがあり、今後も建設需要やニーズの変化に対して注視が必要な状況が続いております。

このような経済環境の中で、当社グループは経営理念でもある個人の成長、育成に力を入れ続け、人材採用の強化、最新テクノロジーの積極的導入（三次元設計、VR、AR等）を行い、設計関連のワンストップサービスの強化を図りました。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高は440,933千円（前年同期比4.7%増）、営業損失は63,146千円（前年同期は営業損失13,891千円）、経常損失は59,268千円（前年同期は経常損失7,645千円）、親会社株主に帰属する中間純損失は47,491千円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失10,765千円）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

#### ①設計ソリューション事業

設計ソリューション事業の売上高は326,633千円（前年同期比4.3%増）、セグメント利益は26,862千円（前年同期比63.0%減）となりました。

#### ②測量事業

測量事業の売上高は66,721千円（前年同期比4.5%増）、セグメント利益は4,611千円（前年同期比38.7%減）となりました。

#### ③派遣事業

派遣事業の売上高は53,542千円（前年同期比13.2%増）、セグメント利益は9,477千円（前年同期比13.7%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は476,085千円となり、前連結会計年度末と比べ1,301千円増加いたしました。これは主に、仕掛品が36,358千円増加した一方で、売掛金が31,843千円、現金及び預金が1,329千円減少したことによるものであります。固定資産は155,776千円となり、前連結会計年度末と比べ42,578千円増加いたしました。これは主に、投資その他の資産が31,552千円、有形固定資産が6,841千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は631,861千円となり、前連結会計年度末と比べ43,880千円増加いたしました。

##### (負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は318,217千円となり、前連結会計年度末と比べ29,526千円増加いたしました。これは主に、短期借入金が20,000千円、受注損失引当金が11,010千円増加したことによるものであります。固定負債は311,849千円となり、前連結会計年度末と比べ61,386千円増加いたしました。これは主に、長期借入金が57,384千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は630,066千円となり、前連結会計年度末と比べ90,912千円増加いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は1,794千円となり、前連結会計年度末と比べ47,032千円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純損失47,491千円を計上したことにより、利益剰余金が同額減少したためであります。

この結果、自己資本比率は0.2%（前連結会計年度末は8.2%）となりました。

②キャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ1,329千円減少し、248,963千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、55,199千円の支出（前年同期は35,555千円の支出）となりました。これは主に、税金等調整前中間純損失59,268千円、棚卸資産の増加額38,023千円があった一方、売上債権の減少額31,843千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、36,477千円の支出（前年同期は11,118千円の支出）となりました。これは主に、敷金の差入による支出が15,310千円、有形固定資産の取得による支出が11,381千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、89,899千円の収入（前年同期は37,300千円の収入）となりました。これは主に、長期借入れによる収入145,000千円があった一方、長期借入金の返済による支出72,296千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年7月期の連結業績予想につきましては、下期の見通し等を考慮して、2020年10月28日付「東京証券取引所 TOKYO PRO Marketへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表いたしました業績予想を下方修正しております。詳細につきましては、2021年2月22日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年7月31日)	当中間連結会計期間 (2021年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	262,292	260,963
売掛金	113,578	81,734
仕掛品	64,419	100,778
貯蔵品	2,236	3,900
前払費用	30,394	23,996
その他	2,295	5,021
貸倒引当金	△433	△310
流動資産合計	474,783	476,085
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	12,569	16,798
工具器具備品(純額)	22,421	25,832
リース資産(純額)	9,348	7,872
その他(純額)	2,132	2,812
有形固定資産合計	46,473	53,315
無形固定資産		
のれん	6,818	5,929
その他	24,684	29,758
無形固定資産合計	31,503	35,688
投資その他の資産		
破産更生債権等	5,139	5,139
その他	33,770	65,322
貸倒引当金	△3,689	△3,689
投資その他の資産合計	35,220	66,772
固定資産合計	113,197	155,776
資産合計	587,980	631,861

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年7月31日)	当中間連結会計期間 (2021年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,765	6,009
短期借入金	60,000	80,000
1年内返済予定の長期借入金	59,170	74,490
未払費用	62,526	72,624
未払法人税等	1,000	400
未払消費税等	40,280	11,656
賞与引当金	14,253	15,452
受注損失引当金	6,115	17,125
リース債務	4,393	3,679
その他	34,186	36,778
流動負債合計	288,690	318,217
固定負債		
長期借入金	230,646	288,030
リース債務	9,133	7,337
資産除去債務	8,151	12,946
その他	2,532	3,535
固定負債合計	250,463	311,849
負債合計	539,154	630,066
純資産の部		
株主資本		
資本金	81,001	81,001
資本剰余金	25,426	25,426
利益剰余金	△59,451	△106,942
株主資本合計	46,976	△514
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,300	1,759
その他の包括利益累計額合計	1,300	1,759
新株予約権	550	550
純資産合計	48,826	1,794
負債純資産合計	587,980	631,861

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

①中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年1月31日)	当中間連結会計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年1月31日)
売上高	421,190	440,933
売上原価	287,733	354,987
売上総利益	133,457	85,946
販売費及び一般管理費	147,348	149,093
営業損失(△)	△13,891	△63,146
営業外収益		
受取利息	15	9
補助金収入	1,837	10,751
保険解約返戻金	6,288	—
その他	681	946
営業外収益合計	8,822	11,707
営業外費用		
支払利息	2,170	2,387
上場関連費用	—	5,250
その他	407	191
営業外費用合計	2,577	7,828
経常損失(△)	△7,645	△59,268
税金等調整前中間純損失(△)	△7,645	△59,268
法人税、住民税及び事業税	445	400
法人税等調整額	2,674	△12,177
法人税等合計	3,119	△11,777
中間純損失(△)	△10,765	△47,491
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△10,765	△47,491



②中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年1月31日)	当中間連結会計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年1月31日)
中間純損失 (△)	△10,765	△47,491
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△49	458
その他の包括利益合計	△49	458
中間包括利益	△10,815	△47,032
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△10,815	△47,032
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年1月31日)	当中間連結会計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失(△)	△7,645	△59,268
減価償却費	12,783	14,027
のれん償却額	889	889
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△79	△123
賞与引当金の増減額(△は減少)	△259	1,199
受注損失引当金の増減額(△は減少)	3,624	11,010
受取利息	△15	△10
支払利息	2,170	2,387
保険解約返戻金	△6,288	—
補助金収入	△1,837	△10,751
売上債権の増減額(△は増加)	8,968	31,843
たな卸資産の増減額(△は増加)	△47,533	△38,023
仕入債務の増減(△は減少)	1,160	△755
未払費用の増減額(△は減少)	4,573	10,097
その他	△12,318	△25,096
小計	△41,808	△62,573
利息の受取額	15	10
利息の支払額	△2,170	△2,387
保険解約返戻金の受取額	6,288	—
補助金の受取額	1,837	10,751
法人税の還付額	941	—
法人税等の支払額	△659	△1,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	△35,555	△55,199
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,418	△11,381
無形固定資産の取得による支出	△1,853	△9,766
敷金の差入による支出	—	△15,310
その他	152	△19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,118	△36,477
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	32,000	20,000
長期借入れによる収入	30,000	145,000
長期借入金の返済による支出	△21,912	△72,296
割賦債務の返済による支出	△308	△333
リース債務の返済による支出	△2,478	△2,470
財務活動によるキャッシュ・フロー	37,300	89,899
現金及び現金同等物に係る換算差額	△54	448
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△9,428	△1,329
現金及び現金同等物の期首残高	113,171	250,292
現金及び現金同等物の中間期末残高	103,743	248,963

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症は、経済、企業活動に広範な影響を与える事象であり、また、今後の広がり方や収束時期等を予想することは困難であります。当社グループにおいては、中間連結会計期間末時点で入手可能な外部の情報等を踏まえて、2021年7月期まで需要が落ち込み、2022年7月期から徐々に回復するとの仮定のもと、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

また、当該会計上の見積りの仮定について、前連結会計年度末から重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2019年8月1日 至 2020年1月31日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	中間連結 財務諸表 計上額 (注2)
	設計ソリューション 事業	測量事業	派遣事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	310,177	63,733	47,280	421,190	—	421,190
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,038	123	—	3,161	△3,161	—
計	313,216	63,856	47,280	424,352	△3,161	421,190
セグメント利益又は 損失(△)	72,635	7,519	8,332	88,486	△102,377	△13,891

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△102,377千円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自 2020年8月1日 至 2021年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	中間連結 財務諸表 計上額 (注2)
	設計ソリューション 事業	測量事業	派遣事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	325,046	62,345	53,542	440,933	—	440,933
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,587	4,376	—	5,963	△5,963	—
計	326,633	66,721	53,542	446,897	△5,963	440,933
セグメント利益又は 損失(△)	26,862	4,611	9,477	40,951	△104,098	△63,146

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△104,098千円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。